

KOGANEI

DeviceNet対応

シリアル伝送対応マニホールド

ユーザーズマニュアル

Ver.1.0

対応電磁弁

●Fシリーズ

*DeviceNet*TM
CONFORMANCE TESTED

DeviceNet対応
シリアル伝送対応マニホールド
ユーザーズマニュアル

このユーザーズマニュアルは、シリアル伝送対応マニホールド電磁弁を正しくお使いいただくために、シリアル伝送ブロック部分について記述したものです。マニホールド部、バルブ部についてはカタログをご覧ください。

ご使用前によくお読みいただき、正しくお使いください。

 **注 意**

本製品は、安全用機器や事故防止システムなど、より高い安全性が要求される用途に対して、適切な機能を持つものではありません。

- ・通信ケーブルは動力線などと束線したり、近接したりしないでください。
- ・本マニュアルは、電磁弁Fシリーズ用です。他の電磁弁シリーズに用いる場合には、別途ご相談ください。

1. 仕 様

■一般仕様

項目	形式	YS6D1 (16点出力) ,YS6D3 (32点出力)
電源電圧		DC24V±10%
消費電力		3W以下 (YS6D1) 、4W以下 (YS6D3) 電磁弁を除く
使用温度範囲		5～+50℃
使用湿度範囲		35～85%RH (結露なきこと)
使用雰囲気		腐食性ガスがなく、塵埃がひどくないこと
耐振動		49.0m/s ²
耐衝撃		98.1m/s ²
耐電圧		AC1000V 1分間 (外部端子一括～ケース間)
ノイズ耐量		IEC61000-4-4準拠 2kV (電源ライン)
絶縁抵抗		10MΩ以上 (DC500V絶縁抵抗計にて外部端子一括～ケース間)

※上記の仕様は、シリアル伝送ブロック単体の仕様であり、設置、稼働に当たっては、搭載される電磁弁等の仕様を加味した使用環境としてください。尚、電磁弁等の仕様については、カタログをご覧ください。

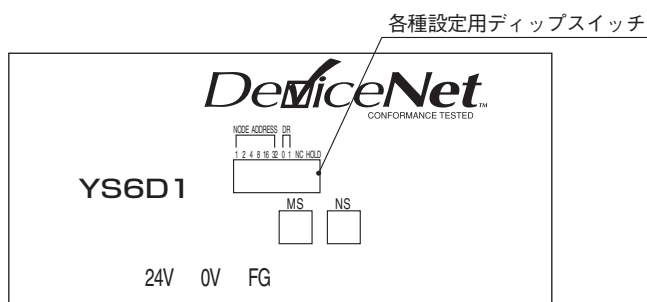
■DeviceNetの特長

デバイスタイプ: Generic Device		Master / Scanner	—
Explicit Peer to Peer message	N	I/O Slave message	—
I/O Peer to Peer message	N	Bit Strobe	Y
Configuration Consistency 値	N	Polling	Y
フォールトノードレカバリ	N	Cyclic	N
Baud Rate 125k / 250k / 500k	Y	Change of State	N

2.シリアル伝送ブロック YS6D1,YS6D3について

2-1.LED 表示パネル部の名称

LED表示パネル面



※イラストはYS6D1のパネル面ですが、YS6D3についても同様です。

LED表示の内容

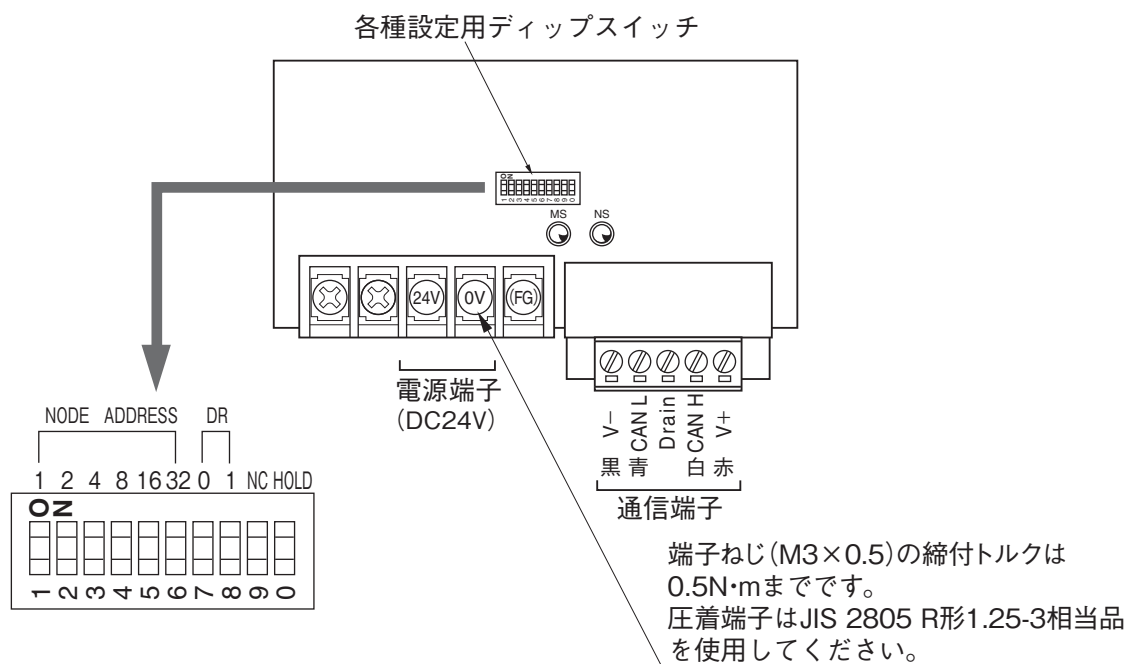
表 示	状態	表示色	内 容
MS	点灯	緑	正常状態
	点滅		未設定状態
	点灯	赤	致命的な故障
	点滅		軽微な故障
	消灯	—	電源供給なし
NS	点灯	緑	通信接続完
	点滅		通信未接続
	点灯	赤	致命的な通信異常
	点滅		軽微な通信異常
	消灯	—	電源供給なし

2-2. 設定と配線

配線カバーを開けて、マイナスドライバー等でディップスイッチを設定してください。

注1：設定は必ず電源OFF状態で行なってください。

2：CAN HとCAN Lの間には、必要に応じて終端抵抗を接続してください。



①ノードアドレス設定 (NODE ADDRESS)

0: OFF

1: ON

ノード アドレス	SW1 1	SW2 2	SW3 4	SW4 8	SW5 16	SW6 32
0	0	0	0	0	0	0
1	1	0	0	0	0	0
2	0	1	0	0	0	0
3	1	1	0	0	0	0
4	0	0	1	0	0	0
5	1	0	1	0	0	0
6	0	1	1	0	0	0
7	1	1	1	0	0	0
8	0	0	0	1	0	0
9	1	0	0	1	0	0
10	0	1	0	1	0	0
11	1	1	0	1	0	0
12	0	0	1	1	0	0
13	1	0	1	1	0	0
14	0	1	1	1	0	0
15	1	1	1	1	0	0
16	0	0	0	0	1	0
17	1	0	0	0	1	0
18	0	1	0	0	1	0
19	1	1	0	0	1	0
20	0	0	1	0	1	0
21	1	0	1	0	1	0
22	0	1	1	0	1	0
23	1	1	1	0	1	0
24	0	0	0	1	1	0
25	1	0	0	1	1	0
26	0	1	0	1	1	0
27	1	1	0	1	1	0
28	0	0	1	1	1	0
29	1	0	1	1	1	0
30	0	1	1	1	1	0
31	1	1	1	1	1	0

ノード アドレス	SW1 1	SW2 2	SW3 4	SW4 8	SW5 16	SW6 32
32	0	0	0	0	0	1
33	1	0	0	0	0	1
34	0	1	0	0	0	1
35	1	1	0	0	0	1
36	0	0	1	0	0	1
37	1	0	1	0	0	1
38	0	1	1	0	0	1
39	1	1	1	0	0	1
40	0	0	0	1	0	1
41	1	0	0	1	0	1
42	0	1	0	1	0	1
43	1	1	0	1	0	1
44	0	0	1	1	0	1
45	1	0	1	1	0	1
46	0	1	1	1	0	1
47	1	1	1	1	0	1
48	0	0	0	0	1	1
49	1	0	0	0	1	1
50	0	1	0	0	1	1
51	1	1	0	0	1	1
52	0	0	1	0	1	1
53	1	0	1	0	1	1
54	0	1	1	0	1	1
55	1	1	1	0	1	1
56	0	0	0	1	1	1
57	1	0	0	1	1	1
58	0	1	0	1	1	1
59	1	1	0	1	1	1
60	0	0	1	1	1	1
61	1	0	1	1	1	1
62	0	1	1	1	1	1
63	1	1	1	1	1	1

②通信速度の設定 (DR)

0: OFF

1: ON

通信速度	SW7	SW8
125kbit/s	0	0
250kbit/s	1	0
500kbit/s	0	1

③伝送異常時の出力保持/クリアの設定 (HOLD)

0: OFF

1: ON

出力状態	SW10
出力保持	1
出力クリア	0

■電源ラインの接続

シリアル伝送ブロックの電源用端子 (24V、0V) に電源ラインを接続してください。

これは、電磁弁駆動用と伝送ブロック内部回路用の電源を兼ねています。



1か所の電源から複数のリモートI/Oやシリアル伝送対応マニホールド電磁弁に電源を供給する場合や遠方に電源を供給する場合は、電圧降下を考慮して電源ケーブルの選定をしてから配線を行ない、定格電圧範囲内 (24V±10%) の電源電圧を確保してください。

長い配線による電圧降下が避けられない場合には、シリアル伝送対応マニホールド電磁弁の近くに別の電源を設置する等の対策を施してください。

3.出力リレー番号と電磁弁ソレノイドの対応

シリアル伝送ブロックは、16点の出力 0～15または32点の出力 0～31がありますが、プログラム上の出力リレー番号と搭載している電磁弁のソレノイドとの対応は下記のようになります。

マニホールド注文形式の中の「結線仕様」の指定により、マニホールド全体のソレノイドと出力リレー番号の対応が異なります。

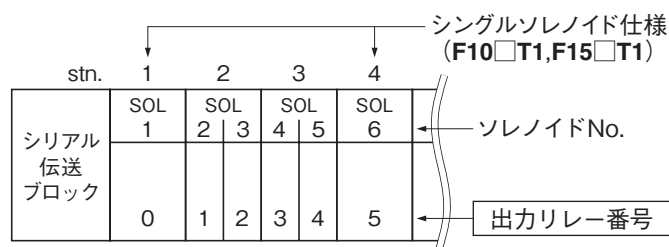
結線仕様 無記入（詰め配線）：搭載されるバルブの仕様に合わせて配線されます。

-W（ダブル配線）：搭載されるバルブの仕様にかかわらず、全てダブルソレノイド用の配線になります。

① 結線仕様が「無記入」（詰め配線）の場合

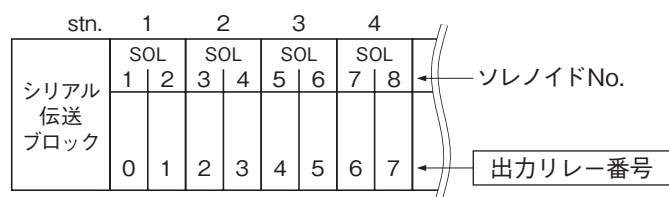
搭載されるバルブの仕様に合わせて配線されますから、ご注文時にシングルソレノイド仕様（F□T1）の指定のバルブは、ソレノイドAのみに結線されており、ソレノイドBには結線されていません。

したがって、納入後に、シングルソレノイドバルブをダブルソレノイドバルブに切換えても、ソレノイドBには通電されず、ダブルソレノイドバルブとしては機能しません。



② 結線仕様が「-W」（ダブル配線）の場合

全てダブルソレノイド用の配線がされています。



※その他、詳細な仕様および注意事項に関してはカタログを参照してください。
※製品に関するお問い合わせは最寄りの弊社営業所または、下記技術サービス
センターへお問い合わせください。



株式会社コガネイ

技術サービスセンター

TEL(042)383-7172

●記載されている仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。
2009年2月20日 初版 KG ©KOGANEI CORP. PRINTED IN JAPAN